



仕事を探すときは ハローワークへ

ハローワーク（公共職業安定所）は、仕事をお探しの方や求人事業主の方に対して、さまざまなサービスを無償で提供する、国（厚生労働省）が運営する総合的雇用サービス機関です。

ハローワークを使うメリット

- ① ハローワークでは全国各地の求人を見ることができる（全国500カ所を超）
- ② 求人が豊富で、幅広い選択肢の中から求人情報を簡単に見つけられる
- ③ ハローワークは求人情報提供以外のサービスも充実している（職業紹介、相談、雇用対策等）

ハローワークの使い方の流れ

ステップ 1

求人申込書の記入とハローワークカード発行：自宅の最寄りのハローワークに行き、「求職申込書」を提出し、「ハローワークカード」を受け取ります。インターネットでの仮登録も可能ですが、1週間以内にハローワークで本登録をしてください。

ステップ 2

求人端末で求人情報を検索・閲覧：ハローワークには「求人端末」という情報端末が設置してあり、この端末を利用して求人情報を探します。閲覧は無料で、求人情報の検索以外に求人票の印刷もできます。

ステップ 3

窓口で相談・求人の応募：応募する求人が決まったら、窓口の職員に伝えて企業に連絡してもらいます。また、窓口では職員に直接就職についての相談ができます。オンラインシステムを使って窓口職員に相談しながら求人を探すことも可能です。

ステップ 4

応募書類の作成：ハローワークで紹介状を発行してもらったら、応募書類を準備しましょう。応募書類は、予約すれば窓口で質問、添削依頼できます。書き方はハローワークの公式サイトでも確認できます。

ステップ 5

面談対策：面接では質問への回答内容や話し方、姿勢、表情、服装などをチェックされます。好印象を与えるには事前練習が大切です。ハローワークでは模擬面接や面接対策のセミナーなども行っているため、窓口にお問い合わせしましょう。

ステップ 6

内定をもらったら、書面で仕事内容や勤務地、給与、休日などを確認して決めます。

ポイント 1

「外部機関への情報公開」をすると地方自治体や就職エージェント等があなたの希望条件に合う企業を紹介してくれます。個人を特定できる情報は公開しないので、安心です。ハローワークカードは毎回忘れずに持参しましょう。ハローワークカードには有効期限があります。

ポイント 2

希望する勤務地（市区町村）を選びます。また、技術職や事務職、サービス業など職種・分野を指定して検索できます。

ポイント 3

気になる求人があるけれど、企業側が求める経験・スキルを満たしていない...という場合は、窓口の職員に相談しましょう。職員が直接企業に交渉してくれるので、場合によっては条件を満たさなくても応募できます。

ポイント 4

セミナーでは、応募書類の注意点や書き方や面接の基本マナー・回答ポイント等を学べます。無料で、事前に予約が必要です。内容については、窓口で職員に聞くか、公式サイトで確認しましょう。

補足情報

外国語で電話ができます
一部のハローワークでは外国語で電話相談ができます

マザーズハローワークのページ
仕事と家庭を両立したい人を応援します。4月からの入園のため、アルバイトをお探しの保護者の方向けです。



入学式当日の準備

初めての小学校入学式、わからないことだらけで心配なママも多いので、4月の情報紙で小学校入学式の日程や持ち物、服装など、ママが気になることを紹介します。

入学式の流れ

内容、流れの順番は学校ごとに異なりますので、入学説明会の資料で確認ください。ある公立小学校の入学式の流れを紹介します。

- 1 受付**
自治体や学校から事前に送付される修学（入学）通知表など本人確認用の書面が必要になる学校が多いので忘れずに！
- 2 教室**
受付を済ませると子どもと別れます。子どもは教室に行き、自分の机に着席し、教科書や学習用具の配布。はじめての出席確認や担任の先生からのお話があります。
- 3 入学式**
保護者は会場に入って、新1年生入場、開会のことば、国歌斉唱、先生方の挨拶、担任紹介、祝電紹介、閉会のことば。
- 4 記念撮影**
校庭、体育館などで先生と子ども、家族の記念撮影をします。
- 5 解散**

小学校入学式の服装



入学式にふさわしい母親の服装は、スーツやセットアップ、ワンピースなどが基本です。幼稚園・保育園の卒園式で着たスーツを着回しても問題ありません。民族衣装でも良い。

コサージュやスカーフ、ネックレスなどのアイテムを加えれば印象もがらりと変わります。また、手持ちのワンピースにフォーマルのジャケットを組み合わせてもいいでしょう。高価なブランド品を用意する必要はありませんが、清潔感を心がけることが大切です。しばらく着ていなかったスーツを着用する場合は、ブラシをかけたり陰干しをしたりして当日にそなえましょう。

また、Webサイトを開設している学校では、前年度の入学式の様子を写真で公開しているところもありますので、それを見て、父母の服装を決めてもいいでしょう。

式でのマナー

- 式の最中におしゃべりを遠慮する
- × 周りを気にせず子どもの写真を撮影
- × 下の子が騒いでいても放置

持ち物

- 入学説明会に必要な持ち物をプリントアウトして配布してくれる学校もありますので、確認しておきましょう。
- 先輩ママに聞く、持って行ってよかった物
- 上履き（子ども＆保護者）
 - 上履き入れ
 - ランドセル・筆記用具・名前ペン
 - サブバッグ
 - 防寒グッズ
 - 水筒・飲み物
 - 下のお子さん用グッズ（音のしないものを選んで）
 - ビデオカメラ（スマートフォンなど）



父親の服装は、基本的にスーツです。普段仕事で使っているスーツでかまいませんが、入学式は式典ですので、ヨレヨレのスーツは避けた方がいいですね。

シャツは基本的に白、アイロンがかかってシワや汚れがないものを選びます。襟首の汚れは意外と目立つので注意してくださいね。ネクタイは華やかさを演出したい場合は、細かい柄のパステルカラーのものを選ぶのがおすすめです。

